

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのるの活動報告



自宅療養者への支援が始まりました

新型コロナの第五派によって医療体制がひっ迫する中、病院や療養施設に入ることができずに自宅で療養することを余儀なくされている方が増えています。東村山市では最大で300人弱、9月16日現在で65の方が自宅療養となっています。

都内でも自宅療養中の方の容態が急変しなくなる事態も発生しています。日本共産党市議団は、市に対し自宅療養者の情報を保健所と共有し、支援物資を届けることや状況確認を行い、自宅で亡くなる方を生み出さないよう対策を求めてきました。

東京都は9月1日、都内の市区町村が行う自宅療養者への支援に対して財政支援をすることを公表。これを受け、東村山市も9月10日から在宅療養者

の支援に乗り出しました。

支援内容は、東京都からの物資が届くまでの3日分の食料品と日用品の提供、パルスオキシメーター(血中酸素計測器)の貸与です。(問い合わせは市役所健康増進課042-393-5111(代表))

市民に最も身近な市が支援をすることで、自宅療養者の状況を把握しやすい環境になることが期待できます。

新型コロナの感染拡大が一向に収まる気配がない状況で、いかに市民のいのちと暮らしを守るか。行政機関としての役割が問われています。

市民のみなさんが安心して生活を送れるように取り組んでいきます。

生理用品を学校トイレに

コロナ禍の中で、「生理の貧困」が注目されています。度重なる緊急事態宣言で、非正規労働等を強いられている女性にしわ寄せがいつていることも原因のひとつといわれています。

そんな中、全国の自治体では公立学校のトイレに生理用品を配置し、女子児童・生徒が自由に使える環境をつくる動きが広がっています。

東京都でも、9月1日から都立中学・高校や特別支援学校で、学校内トイレへの生理用品の配置が始まりました。

私は、市議会9月定例会の一般質問で「市内公立小中学校のトイレに生理用品を配置すること」を提案しました。

しかし、東村山市の教育委員会の回答は「生理用

品の衛生管理に課題がある」「保健室の常備しているので対応はできている」として、トイレに配置することは考えていないというものでした。

ある都立学校の校長は「生理用品はトイレットペーパーと同じだと思って」と言ったことも報道されています。

東村山市でも、トイレットペーパーと同じように、当たり前のようにトイレに配置されるように、これからも取り組んでいきます。

**YouTube
やっています!**

チャンネル登録もお願いします!



シリーズ

SDGsって何？⑦

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の6つ目は、安全な水とトイレを世界中にです。

日本に住んでいて、上下水道が完備された環境で生活されている方はあまり実感がわかないと思いますが、世界を見れば安全な水にアクセスできない人が11億人(2000年現在)いるといわれています。

また、下水道の整備も遅れており、25億人が基礎的な衛生施設を継続的に利用できない状況にあると言われます。

また、水系感染症の発生原因の88%が、安全でない水や衛生施設の影響と言われており、180万人の死因となっているとされています。

日本でも水道の整備はほぼされていますが、下水道に関しては19年度末時点で約80%。公衆衛生の向上や、途上国などへの水資源活用の技術提供など、私たちができることが沢山あります。

経済的な視点ではなく、人道的な視点での国際的な協力が求められています。



Twitter



Facebook



お困りのことなど、
お気軽にご相談ください。

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

渡辺携帯：070-2177-7629

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。

渡辺みのる子育て日誌⑱

コロナで運動不足の子どもたちのために、室内用の折りたたみ式の鉄棒を買った。

次女が「鉄棒のある公園に行きたい」としょっちゅう言っていたことも理由のひとつ。

買って以来、子どもたちは毎日のように鉄棒で遊んでいる。特に次女は、暇さえあれば鉄棒にぶら下がり、逆上がりをし、くるくる回っている。

姉妹の中で、小学1年生の次女が体を動かす事が一番好きだ。

保育園の年中の時にはすでに、空中逆上がりもできるようになった。保育園では、次女が友達にやり方を教えていたそう。

コロナで我慢している子どもたちに、少しでも体を動かしてもらえるように、これからも工夫が必要だ。